

2018年3月17日（土）—6月10日（日） 三重県立美術館

「tupera tupera (ツペラ ツペラ)」は、2002年に活動を開始した、亀山達矢と中川敦子から成るユニット。はじめ布雑貨を制作していた彼らは、「飾れる」シャバラ絵本『木がずらり』(2004年 私家版)の制作を契機に、色鮮やかな紙等をはさみで切り、イラストレーションボードの上に貼り重ねていく独自の手法を用いて、絵本制作の世界で活躍の場を広げていきます。青緻なカットイングやも練された配色・構成とともに、斬新な発想から生まれたユーモラスな内容が、彼らの絵本を、子どもだけでなく大人の心をも掴む人気作品にしています。

しろくまがパンツを探しに出かける『しろくまのパンツ』(2012年 ブロンズ新社)は、2013年に「第18回日本絵本賞読者賞」を受賞し、人気者パンダの秘密を暴く絵本『パンダ銭湯』(2013年 絵本館)は同年「第3回 街の本屋が選んだ絵本大賞 グランプリ」を受賞。絵本はアメリカやフランス、台湾など世界10以上の国・地域で翻訳・出版され、tupera tuperaは今や国内外で大きな注目を集める絵本作家となりました。

tupera tuperaの作品は、油絵科出身の亀山と染織デザイン科出身の中川の両名でゆるやかに分業しながら協力して制作されます。そして、作品を生み出す際に重視するのが、あらゆる人々とのコミュニケーションです。人とのつながりを通して、新しいものを作り出す—そのような制作態度が、本展タイトル「ぼくと わたしと みんなの tupera tupera 絵本の世界展」の由来となっています。

本展では、絵本原画に加え、雑貨や工作、イラストレーションやアートディレクション、映像等、さまざまなジャンルの作品約300点を一堂に会し、tupera tuperaの多彩な活動をご紹介します。

作家情報



亀山達矢 (かめやま たつや)

1976年— 三重県出身

武蔵野美術大学油絵学科版画専攻卒業



中川敦子 (なかがわ あつこ)

1978年— 京都府出身

多摩美術大学デザイン科染織デザイン専攻卒業

2002年により tupera tupera として活動を開始。絵本やイラストレーションをはじめ、工作、ワークショップ、舞台、アニメーション、雑貨、空間デザインなど、様々な分野で幅広く活動している。絵本など著書多数。海外でも様々な国で翻訳出版されている。京都造形芸術大学こども芸術学科専任教授。代表作に絵本『しろくまのパンツ』、『パンダ銭湯』、教育番組「ノージーのひらめき工房」(NHK Eテレ)アートディレクションなど。

展覧 のみどころ



b. 「パンダ銭湯」(2013 年

©tupera tupera／絵本館)

tupera tupera のこれまでの活動の大部分をご紹介します。
はじめての大規模巡回展です。

2002 年に活動を開始した tupera tupera は、
結成 16 年目を迎えます。本展では活動初期に
布雑貨から、イラストレーション、木製作品
の原画に至るまで、多岐に渡る作品約 300 点
ます。2017 年 9 月に横須賀美術館で開幕し、
家の活動全般をご紹介します、はじめての大規
なります。



c. 「しろくまのパンツ」(2012 年

©tupera tupera／ブロンズ新社)

人気絵本『しろくまのパンツ』『パンダ銭湯』をはじめ、
tupera tupera がこれまで手掛けた多くの絵本の原
ご覧いただけます（原画を展示する絵本は計 29 タイ

精緻なカットティングを施した紙や布が何層に
色鮮やかな原画は必見です。用いられた紙や
違いが楽しめるのも、原画鑑賞ならではの
言えるでしょう。



d. 「かおノート」(2008 年

©tupera tupera／コクヨ株式会社)

tupera tupera の柔軟な「ものづくり」の世界を体感

tupera tupera の作品は、亀山達矢と中川敦夫
って生み出されます。そして、作品制作の背
まざまな人との出会いやコミュニケーション
今回の展覧会には作家的コメントや未採用原
も掲示・展示し、制作のエピソードやプロセ
します。11月6日に開催するワークショップ
者も作家と一緒にものづくりを楽しむことが